

2025 年 10 月 17 日

各 位

上場会社名 東京製鐵株式会社
代表者 代表取締役社長 奈良 暢明
(コード番号 5423 東証プライム市場)
問合せ先責任者 執行役員経営管理本部長
津田 聡一郎
(TEL 03-3501-7721)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり 2025 年 7 月 18 日に公表した 2025 年 3 月期通期個別業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(2025 年4月1日~2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	293,500	16,100	17,200	11,000	107.31
今回修正予想(B)	264,300	9,500	10,500	10,000	97.54
増減額(B-A)	△29,200	△6,600	△6,700	△1,000	－
増減率(%)	△9.9	△41.0	△39.0	△9.1	－
ご参考) 前期実績 (2025 年3月期)	326,775	30,105	31,612	21,203	197.96

修正の理由

当 7-9 月期におきましては、国内での建設分野における人手不足による施工能力の減少の影響など、製品出荷数量が想定を下回りましたことに加え、生産数量の減少による固定費負担の増加を受け、期間利益は計画を下回ることとなりました。今後の見通しにつきましては、国内の製造業では、自動車の対米関税問題が決着したものの、需要の先行きについては不透明感が続くことや、円安影響による鉄スクラップ価格の上昇が収益を圧迫することが懸念されます。当社においても 9 月 16 日に公表いたしました 10 月契約において、これまでの製品市況を反映した出直し価格の提示を余儀なくされるなど、予断を許さない経営環境が続きますが、採算重視の方針を徹底し、販売単価の値戻しに注力するとともに、各原材料使用原単位の見直しなどのコスト低減を継続してまいります。

以上のような次第および、資産の売却益を計上する見込みとあわせ、2025 年 7 月 18 日公表の通期業績予想について修正をいたします。

以 上